



しんじゅようちえん 73-1523

今月のことば
 私がい
 「おかげさま」
 ではなく
 があつて
 私がい
 「おかげさま」
 (釈秀章)

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3 休園
4	5	6	7 園庭開放	8 始業式 11:30 降園 2年度バス便	9 入園式	10 休園
11	12	13	14 園庭開放 お給食開始 13:30 降園	15	16	17 休園
18	19	20 平常保育 14:30 降園 お花の慰問 (月1)正装	21 園庭開放	22	23 お誕生日会 4月生まれの お友達正装	24 休園
25	26	27 お弁当の日	28 園庭開放	29 昭和の日	30	

事務	調理	調理	栄養士	小型バス	大型バス	フリー	フリー	フリー	花の2組	花の1組	花の1組	星の2組	星の1組	月の2組	月の1組	園長

職員紹介

4月の
おたんじょうび

5月の予定

- 七日(金)保育参観・総会
- 二十日(木)お誕生日会
- 二十一日(金)御降誕会
- 二十五日(火)春の遠足
- 二十八日(木)歯科検診

・ティッシュ(一箱)雑巾(一枚)のご協力を
 お願いします。雑巾は幼稚園で使用
 しますので記名の必要はありません。
 ※行事につきましては、今後の状況次第では
 変更または、中止になる可能性があります。
 ご了承ください。よろしくお願いいたします。

私たちは、多くのものと繋がりが合い、支え合って生きています。
 このように、すべてのものは、繋がりの中で存在しているということ
 とを、お釈迦さまは、「縁起」という言葉で教えてくださいました。
 「縁起」というと、「縁起がいい・悪い」という言葉が浮かぶ人
 も多いと思いますが、それは、仏教用語としての「縁起」の意味が
 変化して使われているもので、本来の意味とは違います。本来は、
 文字通り「縁によって起こっていること」、つまり、「すべてのもの
 は、多くの関わり合い(縁)によって、成り立っている(起)」と
 いう意味なのです。
 この「縁起」ということを受け止めた時、「おかげさま」という
 心が起きます。「おかげさま」は漢字で「お陰さま」と書きます
 が、陰になつて支えてくれているものに、「お」と「さま」という
 言葉をつけて、丁寧に呼んでいることに、感動します。
 また、「縁起」の受け止め方として大切なことがあります。それ
 は、私がい、多くのものと繋がっているのではなく、多くのもの
 との繋がりの中で、初めて私がいということ。繋がりがなか
 ったら、私はいないのです。つまり「私がい(存在する)」とい
 うことを前提にして、「お陰さま」ではなく、「お陰さま」があるか
 ら、「私がい」のです。ややくさしく感じるかもしれませんが、こ
 れは、とても重要なことなのです。
 『私がい「おかげさま」ではなく、「おかげさま」があつて私がい
 いる』このように縁起が正しく受け取れた時、自らの生き方が厳
 しく問われてきます。

龍谷大学非常勤講師 小池秀章